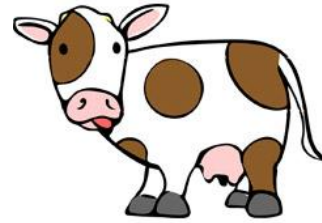


県内で牛伝染性鼻気管炎（IBR）が発生しました

今年7月、8年ぶりに県内でIBRが発生しました。
（前回発生 平成19年度 1戸4頭）

事例の概要

発生農場 酪農家 1戸
発生頭数 成牛 4頭
症状等 発熱、鼻汁、咳など



IBRについて（届出伝染病に指定）

主な症状は、40℃以上の発熱、水様性鼻汁、発咳・流涎の他、乳量の低下、流産などです。感染牛は回復後も、妊娠、分娩、長距離輸送等の各種ストレスでウイルスを再排泄します。免疫のない子牛で症状は重くなります。成牛の死亡率は低いですが、細菌などの二次感染により、症状は悪化します。

対策

- ◇新生子牛への初乳給与：十分与え、子牛に免疫をつけて下さい。
- ◇ワクチン接種：ワクチンによる発症予防が最も効果的です。ワクチン抗体維持のためには、年1回程度の追加接種が必要です。
- ◇飼養衛生管理基準の遵守：牛舎の清掃・消毒や導入後の健康観察などのウイルスの侵入防止対策、異常牛の早期発見・隔離などのまん延防止対策を行うことが大切です。

全国の発生状況

平成26年度 19戸 105頭
平成25年度 19戸 1,006頭
平成24年度 20戸 288頭

異状が見られた場合には、直ちに家畜保健衛生所までご連絡ください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL：0463-58-0152 FAX：0463-58-5679

